

特定非営利活動法人 とむての森

生活支援事業所 「ほっぷ」、就労支援事業所 「すてっぷ」

○基礎情報

【運営形態：福祉事業所、ベーカリーカフェ、パン製造、トマト・野菜の栽培、販売】

【職員数：16名、事業所利用者数：ほっぷ10名、すてっぷ19名（知的、精神、発達障害者など）】



<問い合わせ先> とむての森 ☎ 0157-32-8715

URL : <https://tomutenomori.or.jp/>

1 農福連携に取り組んだ経緯

平成16年11月にNPO法人として設立。障害があっても誰もがあたりまえのように暮らせる街づくりを目指して活動を続けている。

平成26年、北見市内で遊休地となっていた農地を借りて農作物の生産を開始（名称：みんなの畑くんね）。現在も市内の農地（ビニールハウス）を借りて、加工用トマトを中心とした農作物の生産、加工、販売等に継続して取り組んでいる。

2 取組内容

- (1) 就労形態：ビニールハウス（4棟）及び露地栽培（計2.9アール）での農作業、野菜の加工作業等
- (2) 就労期間：3月～10月
- (3) 就労時間（休憩）/稼働日：9:00～16:00（昼休憩1時間）/月曜日～土曜日
※日曜日及び火曜日は休み（その他、年間予定表による）
- (4) 工賃：150円～/時間 ※農作業での能力評価が時給にプラスされます。
- (5) 送迎：なし（事業所から農地間の移送あり）
- (6) 昼食：あり（350円/食）



3 取組の特徴

- (1) ビニールハウスで加工用トマトの栽培を中心に行っており、苗床整備、苗の移植、除草、整枝、収穫等まで一連の作業を事業所の利用者（以下「利用者」という。）が、適性、能力や意欲に基づいて行っている。
- (2) 身体的な理由から屈んで作業をすることが困難な障害者が多いことから、畝を通常より高くすることで作業性を向上している（おおむね膝の高さ）。
- (3) 作業の見通しを持てるように畝の中間に横切って通路を入れることにより、作業の区切りを分かりやすくしている。これにより、利用者が視覚的に作業の進捗状況を理解でき、作業の効率化が図れている。
- (4) 収穫した加工用トマトは外食業者に販売されるほか、事業所内でペースト状に加工し、法人が経営するカフェのパンやソース等に利用している。
- (5) 利用者が作りたい野菜も栽培するなど、利用者が楽しみながら農作業ができるように配慮している。
- (6) 一人ひとりの特性・個性を見極め、安定的で本人の自信に繋がるようなサポートを行っている。

4 障害者就労への考え方

- (1) 施設内の作業訓練は重要だが社会に触れる機会も必要なため、委託先の作業で企業の方と関わることにより責任感と自信の構築を促し、自己肯定感が芽生える。
- (2) 自然に触れることで情緒面での安定を図る。

5 今後の予定や将来展望

- (1) 品質・生産性の向上、作業の細分化・簡略化を目指し、障害特性を配慮しながら個々の強みを伸ばす。
- (2) 納品数の増加による収益アップ。